

戦争への傾斜

わが国の満洲・中国・仏領インドシナの進出に、対しアメリカやイギリスは事毎に干渉し、昭和十六年頃には臨戦態勢の息つまる世界情勢であつた。

「大政翼賛会」と銘打つて、中年の男子は「翼賛会」に入り、婦人は「国防婦人会」を中心にして行くなど、昭和十六年には、戦争前夜の息詰まる情勢であつた。



また、各家庭の飯米は配給制になり、左のように「飯米通帳制」が施行され、農家もその計画の中に組み入れられるなど、統制経済が益々嚴重になつて、戦時体制が、総てに網羅されて窮屈な世相になつた。

